

2024 年 度
(第 62 事業年度)

事 業 報 告 書

公益財団法人 マリンスポーツ財団

目 次

一 般 概 況	1
---------------	---

第 1 章 事業活動

I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業	10
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業	14
4 マリンスポーツ助成事業	15

II 収益事業

1 特殊小型船舶操縦講習事業	16
2 マリンスポーツ施設の運営事業	16
3 オフィスビル賃貸事業	17

III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業	17
---------------------------	----

第 2 章 組織運営

I 理事会及び評議員会	18
II 役員等の動向	19
III 監査等	19
IV 定款の変更	19
V 規程及び達の制定・改廃	19
VI 関係団体との交流	19
VII 環境に配慮した活動	20
VIII 職員等の動向	20
別表 1 役員名簿	21
別表 2 評議員名簿	21

事業報告

(第 62 事業年度)

2024 年 4 月 1 日から

2025 年 3 月 31 日まで

一 般 概 況

2024 年度は、前年に策定した中長期計画に基づき、Activity (活動)、Education (教育・情報)、Management (管理・運用) を事業の 3 本柱とし、海事思想の普及推進に加えて、海事産業の次世代人材育成支援、海洋環境の保全、安全啓発活動や、マリンスポーツ等が安全に楽しめるゲレンデなどの確保に向けた管理施設マネジメント事業を積極的に推進した結果、各種イベント数や参加人数が増加するなど所期の目的を達成し、関係各位の多大なる協力のもと、ここに終了した。

「Activity」では、マリンスポーツイベント等の開催を通じて海洋環境に関するワークショップや体験会の実施、Maris サポーターのネットワークの拡充、協力団体との連携によるライフジャケットレンタルステーションや水辺活動の拡大など、水辺の安全知識の普及に努めた。

「Education」では、マリンスポーツ助成事業を通じて、海事産業の将来の発展と、より良い水辺環境の創出のため、昨年引き続き助成金の公募を行い、高校生へ進学支援、海洋保全教育や活動拠点の構築を目標とした活動への支援を行った。また、安全啓発活動においては水上安全サミットを関係官庁、安全啓発団体、民間企業等と連携して行い、米国から水上安全機関の来賓を迎えるなど、国内外の水上安全に関する情報発信・共有を行い、更なる連携の強化を図ることができた。

「Management」では、港湾緑地公園やボートパークに加え、新たにスタートしたヨットハーバーの適正な運営管理を行い、地元教育機関と連携した海洋環境に関するイベント実施のほか、自治体や漁協などとの連携を図り、水上オートバイの活動拠点を開設するなど、水辺活動の普及と健全な水辺利用の環境整備を推進した。

以上のとおり、本年度は中長期計画に沿って事業を実施し、さらに新規事業にも取り組むために定款を変更して、ビーチ・アーバンスポーツを含めスポーツ全般を通じた普及活動並びに健康増進への寄与を行うための調査等を実施し、今後の事業拡充を目指すとともに更なる社会貢献に尽力した。

第1章 事業活動

I 公益事業

1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業1）

本事業では、関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと、広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供し、マリンスポーツの魅力や楽しさ、水辺の安全知識、ライフジャケットの有用性の啓発活動、海洋環境系ワークショップ等を実施した。

- 該当する SDGs -

13 [気候変動]・14 [海洋資源]

(1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

① 「未来に残そう私達のマリンフィールド」プロジェクトの展開

体験乗船会等の親水イベントで海洋環境系のワークショップを展開し、SDGs に興味を持ち、理解し、アクションに繋げるきっかけを提供した。

期 日	内 容	場 所	参加人数
5/26 (日)	Marine Sports Festival in 隅田川において、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	東京都台東区 隅田川	33
6/9 (日)	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク	100
7/21 (日)	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 浦賀ボートパーク	112
9/8 (日)	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	312
9/28 (土)	TOYOTA SOCIAL FES in 大阪において、ビーチクリーンを開催	大阪府 桜ノ宮ビーチ	58
10/20 (日)	Happy Autumn Fes において、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	10
11/17 (日)	Maris Sustainable Village 須磨において、神戸大学と連携し、パーククリーンとマイクロプラスチックについての講義を開催	兵庫県神戸市須磨 北ヨットハーバー	44
12/8 (日)	Gomi O Park において、パーククリーンや環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	345
1/13 (祝)	Gomi O Park において、パーククリーンや環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	865
2/9 (日)	Gomi O Park において、パーククリーンや環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	615
3/9 (日)	Gomi O Park において、パーククリーンや環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	680
3/20-23 (木祝-日)	JAPAN INTERNATIONAL BOAT SHOW 2025 において Maris『サステナブルビレッジ』を開催	神奈川県横浜市 パシフィコ横浜	275
3/29-30 (土-日)	SATOYAMA & SATOUMI movement において Maris『サステナブルビレッジ』を開催	千葉県千葉市 幕張メッセ	77

② 親水イベントの開催・支援

期 日	行事名・主催	場 所	参加人数	前年度
5/18-19 (土・日)	マリンスポーツフェスタ in 碧南 (主催：(公社)日本モーターボート選手会)	愛知県碧南市 (勤労青年水上スポーツセンター)	302	253
5/23 (木)	第3回「海イコ」マリン体験乗船会 (主催：UMI 協議会)	東京都江東区 (若洲ヨット訓練所)	10 (媒体数)	32 (媒体数)
5/26 (日)	マリンスポーツフェスティバル in あいおい (主催：Maris クラブ相生)	兵庫県相生市 (相生湾)	255	209
5/26 (日)	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催：協同組合浅草商店街連合会、花川戸商店会)	東京都台東区 (隅田川)	106	224
7/15 (祝)	「いずみさの関空マリーナ」海洋体験 (主催：泉佐野ウォーターフロント(株))	大阪府泉佐野市 (いずみさの関空マリーナ)	59	43
7/27-28 (土・日)	マリンスポーツフェスティバル in いわき (主催：小名浜港ボート天国推進協議会)	福島県いわき市 (小名浜港)	966	1,222
8/17-18 (土・日)	「住之江ボートレースマルシェ」にて キッズボート乗船会を実施 (主催：ボートレース住之江運営協議会)	大阪府大阪市 (住之江ボートレース場)	200	—
8/25 (日)	～海と日本プロジェクト in 浜名湖～ 見て 知って 感じて はまなこ show! 2024 (主催：海と日本プロジェクト in 浜名湖実行委員会)	静岡県湖西市 (浜名湖ボートレース場)	120	—
8/31 (土)	Eco MARINESPORTS Challenge 2024 in 海の森水上競技場 (SDGs Village 併催) (共催：海の森水上競技場マネジメント共同企業体)	東京都江東区 (海の森水上競技場)	荒天 中止	1,500
10/5 (土)	第192回海さくらゴミ拾い「PIG FES」 (主催：NPO 法人海さくら)	神奈川県藤沢市 (片瀬東浜海岸)	998	575
10/6 (日)	フレンドシップデー2024 (主催：米海軍横須賀基地)	神奈川県横須賀市 (米海軍基地前面水域)	25,000 (来場者数)	20,000 (来場者数)
10/27 (日)	ジェットフェスティバル蘇我 「マリンマルシェ in 蘇我」(株式会社エッジ)	千葉県千葉市 (フェスティバルウォーク蘇我)	2,000 (来場者数)	52
11/10 (日)	住之江フェスティバル (主催：ボートレース住之江運営協議会)	大阪府住之江市 (住之江ボートレース場)	200	100
3/22 (土)	日米親善よこすかスプリングフェスタ (主催：米海軍横須賀基地)	神奈川県横須賀市 (米海軍基地前面水域)	55,000 (来場者数)	25,000 (来場者数)

前年比 220%

③ ライフジャケットの着用推進活動

a. ライフジャケットレンタルステーションの利用状況

	設 置 場 所		本年度	前年度
1	神奈川県逗子市	逗子海岸海水浴場	1,242	1,774
2	静岡県湖西市	新居弁天海水浴場	61	82
3	静岡県浜松市	弁天島海水浴場	46	15
4	神奈川県鎌倉市	由比ガ浜海水浴場	106	99
5	神奈川県鎌倉市	材木座海水浴場	258	282
6	神奈川県鎌倉市	腰越海水浴場	44	8
7	神奈川県藤沢市	片瀬東浜海水浴場	0	0
8	神奈川県藤沢市	片瀬西浜海水浴場	0	0
9	神奈川県横浜市	金沢八景海の公園	67	20
10	兵庫県神戸市	須磨海水浴場	610	482
11	神奈川県茅ヶ崎市	サザンビーチちがさき	165	175
12	神奈川県足柄下郡	湯河原海水浴場	—	—
13	福島県相馬市	原釜尾浜海水浴場	—	—
14	神奈川県平塚市	湘南ひらつかビーチパーク	0	11

	設 置 場 所		本年度	前年度
15	新潟県聖籠町	網代浜海水浴場	—	6
16	京都府宮津市	天橋立海水浴場	168	95
17	京都府宮津市	丹後由良海水浴場	119	11
18	福岡県糟屋郡	新宮海水浴場	357	401
19	千葉県長生郡	一宮海水浴場	280	89
20	茨城県大洗町	大洗サンビーチ海水浴場	4	0
21	鹿児島県与論町	大字茶花地区管理施設 Tuk Tuk	300	140
22	北海道大空町	女満別湖畔観光案内所	314	88
23	新潟県糸魚川市	糸魚川海水浴場	134	82
24	新潟県糸魚川市	親不知海水浴場	46	53
25	広島県呉市	ベイサイドビーチ坂	1,272	369
26	兵庫県神戸市	アジュール舞子海水浴場	1,163	116
27	京都府宮津市	天橋立府中海水浴場	18	—
28	鹿児島県与論町	大字茶花地区管理施設 笑人達	276	—
※29	宮城県気仙沼市	小田の浜海水浴場	600	—
※30	新潟県佐渡島	赤亀・風島なぎさ公園海水浴場	60	—
※31	新潟県佐渡島	佐和田海水浴場	35	—
※32	新潟県佐渡島	城が浜海水浴場	119	—
※33	新潟県佐渡島	素浜海水浴場	—	—
※34	新潟県佐渡島	達者海水浴場	—	—
※35	新潟県佐渡島	入崎海水浴場	—	—
※36	新潟県佐渡島	二ツ亀海水浴場	17	—
※37	福島県南相馬市	北泉海水浴場	206	—
※38	神奈川県三浦郡葉山町	森戸海岸海水浴場	630	—
※39	神奈川県三浦郡葉山町	一色海岸海水浴場	263	—
※40	和歌山県西牟婁郡白浜町	白良浜海水浴場	407	—
※41	和歌山県西牟婁郡白浜町	江津良海水浴場	148	—
※42	和歌山県西牟婁郡白浜町	臨海裏海水浴場	201	—
※43	沖縄県宜野湾市	宜野湾海浜公園	58	—
※44	沖縄県宜野湾市	ぎのわんトロピカルビーチ	123	—
※45	東京都小笠原村	母島観光協会	6	—
※46	北海道留萌市	道の駅るもい	30	—
※47	北海道留萌市	ゴールデンビーチるもい	41	—
※48	新潟県糸魚川市	能生海水浴場	30	—
※49	新潟県糸魚川市	百川海水浴場	0	—
※50	新潟県糸魚川市	藤崎海水浴場	25	—
※51	福島県いわき市	勿来海水浴場	70	—
※52	福島県いわき市	薄磯海水浴場	150	—
※53	福島県いわき市	四倉海水浴場	70	—
※54	福島県いわき市	九弦浜・波立海水浴場	20	—
	合計		10,359	4,398

※新規開設（26ヵ所）

前年比 236%

ｂ．ライフジャケットの周知活動

(a) アンケート&投票キャンペーン

「ジャパンインターナショナルボートショー2025」及び「SATOYAMA & SATOUMI movement」において、ライフジャケットアンケートとオリジナルデザインライフジャケットの人気投票を実施した。

アンケート数 472 / 投票数 2,078

④ 次世代の人材育成

海事産業の次世代を担う海洋高校生を対象に、各種マリンスポーツの体験や安全対策、海洋環境等に関する知識を深めるとともに、マリンスポーツを通じた地域社会の活性化を図ることを目的に本事業を実施した。

ａ．海洋高校生等に対するマリンスポーツ教育等の支援

(a) 神奈川県立海洋科学高等学校のマリンスポーツ実習

① 海の安全と気象・海象についての講習（横須賀海上保安部）

実施期日 4月17日・5月8日（水曜日・2回）

実施場所 住友重機機械工業（北ドックハウス）

対 象 2年生 各10名

② ディンギー実習

実施期日 4月17日・4月24日・5月8日・5月15日（水曜日・4回）

実施場所 浦賀湾、住友重機機械工業（北ドックハウス）

対 象 2年生 各10名

③ カヌー実習

実施期日 5月29日・6月5日・6月12日・6月26日（水曜日・4回）

実施場所 浦賀湾、住友重機機械工業（北ドックハウス）

対 象 2年生 各10名

④ SUP 実習

実施期日 7月10日・7月17日・9月4日・9月11日（水曜日・4回）

実施場所 浦賀湾、住友重機機械工業（北ドックハウス）

対 象 2年生 各10名

(b) 新潟県立海洋高等学校のマリンスポーツ実習への協力

実施期日 7月17日（水）（1回）

実施場所 能生海岸（新潟県糸魚川市）

対 象 水産科1年生 69名

内 容 水上オートバイ、プレジャーボート

(c) 福井県立若狭高等学校マリンスポーツ教科への協力

実施時期 5月22日（水）

実施場所 若狭高等学校海洋キャンパス

内 容 水上オートバイ、アクアボード、SUP
対 象 2 年生 16 名

(d) 千葉県立大原高等学校マリンスポーツ教科への協力

実施時期 7 月 1 日(金)
実施場所 若狭高等学校海洋キャンパス
内 容 SUP、カヌー
対 象 2 年生 10 名

(e) 海洋高等学校等との連携イベントの開催

マリンスポーツフェスティバル in 能生海岸

実施期日 9 月 14 日(土)
実施場所 能生海岸
参 加 校 神奈川県立海洋科学高等学校、新潟県立海洋高等学校
福井県立若狭高等学校
内 容 ・水上アクティビティ
キッズボート、水上オートバイ、カヌー、SUP
アウトリガーカヌー
・陸上コンテンツ
水辺の安全講習会
地元・学校 PR ブース等の出展と各地海洋高校生の交流会
観 客 数 148 名

(f) 海洋高校全国大会への支援

全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテスト

実施期日 8 月 21 日(水)－23 日(金)
実施場所 愛知県立三谷水産高等学校 プール
内 容 大会運営協力(オリジナル大会ウェア提供 80 着)
参 加 校 北海道小樽水産高等学校、青森県立八戸水産高等学校
秋田県立男鹿海洋高等学校、新潟県立海洋高等学校
茨城県立海洋高等学校、東京都立大島海洋国際高等学校
静岡県立焼津水産高等学校、愛知県立三谷水産高等学校
高知県立高知海洋高等学校、福岡県立水産高等学校
※10 校 22 チーム

全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテスト

実施期日 12 月 7 日(土)－8 日(日)
実施場所 愛知県立三谷水産高等学校 プール
内 容 大会運営協力(オリジナル大会ウェア提供 30 着)

参 加 校 神奈川県立海洋科学高等学校、静岡県立焼津水産高等学校
愛知県立三谷水産高等学校、島根県立浜田水産高等学校
富山県立滑川高等学校、鹿児島県立鹿児島水産高等学校
三重県立水産高等学校 ※7校

⑤ 広報活動の拡充

当財団の事業及び世界の水辺に係るニュースを主体に、SDGs を含めた情報（50 回）をホームページはじめ、SNS による情報発信を実施した。また関係官庁と連携し、ライフジャケットの啓発展示活動を 2 回実施した。

a. ホームページ及び SNS による情報発信一覧

	掲載数	年度当初 フォロワー数	目標 フォロワー数	年度末 フォロワー数
ホームページ	63 回			
Facebook	233 回	32,390 名	45,000 名	43,861 名
X	233 回	2,249 名	3,000 名	2,315 名
YouTube	14 回	854 名	1,000 名	1,044 名

b. 関係官庁との啓発展示活動

イルカのトリックアートとライフジャケットを着用しての写真撮影、レンタルステーション等の PR 展示を行った。

(a) 「海の日」行事「海の日プロジェクト in 青海」

実施期日 7 月 15 日（祝）
実施場所 東京都江東区青海 東京国際クルーズターミナル
来場者数 10,000 名

(b) 国土交通省「こども霞が関見学デー」

実施期日 8 月 7 日（水）・8 日（木）
実施場所 東京都千代田区霞が関 国土交通省共用会議室
来場者数 2,560 名

⑥ Maris サポーターとの連携

Maris サポーター制度による「Water Safety パートナー」として 19 団体を新規登録し、43 団体となった。（前年度 24 団体）

a. Maris サポーターとの連携による活動

- ・野外活動やイベントへのライフジャケットの貸出し
- ・ライフジャケットレンタルステーションの設置
- ・「親子で学ぶ ライフジャケット着用教室&プールでカヌー体験（6/23（日）：東京都板橋区）」への協力

b.今年度新規登録した Maris サポーター (19 団体)

	団体名	所在地
1	一般社団法人久喜青年会議所	埼玉県久喜市
2	NALU (ナルー)	東京都小笠原村
3	板橋第 5 小学校 親兄の会	東京都板橋区
4	気仙沼ライフガード	宮城県気仙沼市
5	NPO 法人葉山ライフセービングクラブ	神奈川県三浦郡葉山町
6	白浜町観光商工係	和歌山県西牟婁郡白浜町
7	NPO 法人ハッピーアイランドサーフツーリズム	福島県南相馬市
8	日本赤十字社千葉県支部	千葉県千葉市
9	糸魚川市商工観光課	新潟県糸魚川市
10	北海道留萌市	北海道留萌市
11	特定非営利活動法人 RCB 大口夢	神奈川県横浜市
12	はごろも PM パートナース	沖縄県宜野湾市
13	宜野湾マリン支援センター	沖縄県宜野湾市
14	新島村観光案内所	東京都新島村
15	横浜海の公園ライフセービングクラブ	神奈川県横浜市
16	いわき市海水浴場安全対策実行委員会	福島県いわき市
17	エシカリングクラブ★	神奈川県藤沢市
18	愛知県マリンスポーツ連盟	三重県桑名郡
19	横浜国際ドラゴンボート協会	神奈川県横浜市

(2) 管理施設を活用したマリンスポーツの啓発事業

① 管理施設におけるマリンスポーツの啓発活動

神奈川県横須賀市の各指定管理施設において、地元企業等の協力のもと、マリンイベントを実施するとともにマリンスポーツにおける安全啓発を行った。

a. うみかぜカーニバル in 深浦

実施期日 6 月 9 日 (日)

実施場所 神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク

実施内容

- ・体験乗船会
- ・プレジャーボート
- ・京浜ドッグ見学会
- ・環境系ワークショップ

参加人数 144 名

b. MARINE SPORTS FESTIVAL in 須磨海岸

実施期日 6 月 23 日 (日)

実施場所 兵庫県神戸市 須磨海岸 (須磨ヨットハーバー)

実施内容 SUP、フローティングバイク、カヤック体験乗船会

参加人数 84 名

c. Fishing Party 2024 in 海辺つり公園

実施期日 6 月 30 日 (日)

実施場所 神奈川県横須賀市 海辺つり公園
実施内容 ・海辺つり公園五目釣り大会
・エギ色付け体験
・カヤックフィッシング、SUP フィッシングの紹介
・用品販売ブース
・魚のさばき方教室
・地元魚介類の販売
参加人数 27 名

d. うみかぜカーニバル in 浦賀

実施期日 7 月 21 日（日）
実施場所 神奈川県横須賀市 浦賀ボートパーク
実施内容 ・体験乗船会
キッズボート、SUP、BIGSUP、フローティングバイク
カヌー、ミニボート
・プールで SUP 体験
・浦賀ドッグ及び住友重機械工業（資料館）の見学会
・キッチンカー出店
・キャップアートプロジェクト
参加人数 311 名

e. うみかぜカーニバル in うみかぜ公園

実施期日 9 月 8 日（日）
実施場所 神奈川県横須賀市 うみかぜ公園
実施内容 ・体験操船会
キッズボート、SUP、BIGSUP、カヌー、アウトリガーカヌー、
バナナボート
・マリンスポーツデモンストレーション
・うみかぜコンサート、フラダンスショー
・稚魚の放流
・横須賀海上保安部や横須賀市港湾部等のブース出展
・キッチンカー、マルシェ
参加人数 497 名

f. Happy Autumn Fes 2024

実施期日 10 月 20 日（日）
実施場所 神奈川県横須賀市 うみかぜ公園
実施内容 ・体験乗船会
キッズボート&SUP タイムアタック（強風の為中止）

- ・ うみかぜフリーマーケット&マルシェ
- ・ Dog イベント
- ・ キッチンカー出店

観客数 1,048 名

(3) 調査研究

- ・ 水上安全に関する実地調査（沖縄本島および宮古島、南紀白浜）
- ・ 指定管理業務に関する実地調査（横須賀市浦賀エリア）
- ・ アーバンスポーツであるピックルボールの国際大会への協力（東京都江東区）
- ・ 米国におけるアーバンスポーツ施設の視察及び業界の動向等情報収集

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業 2）

本事業では、国土交通省、海上保安庁、及び水上安全啓発団体等との連携により、研修等を通じて、水上安全の更なる向上に寄与した。

- 該当する SDGs -

3 [保健]・**4** [教育]・**17** [パートナーシップ]

(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

① 地域活動に対する協力、支援

a. 連絡会議等への参加

(a) 小型船舶の事故防止に係る関係機関連絡会幹事会

主 催	第四管区海上保安本部
実施期日	6 月 18 日（火）、3 月 10 日（月）
実施場所	愛知県名古屋市
参加団体	第四管区海上保安本部、中部運輸局 （公社）中部小型船安全協会、その他啓発団体等
議事内容	小型船舶事故発生状況、各団体の活動計画等の共有

(b) 兵庫県水上オートバイ対策連絡調整会議

主 催	兵庫県
実施期日	4 月 22 日（月）
実施場所	兵庫県神戸市
参加団体	兵庫県関係機関、警察、運輸局、保安部、漁業者、啓発団体等
議事内容	前年度取組み報告、他県の状況、令和 6 年度取組み他

(c) 海岸域の安全利用に係る連絡会議

主 催	兵庫県明石市
実施期日	5 月 30 日（木）

実施場所 兵庫県明石市
参加団体 明石市関係機関、警察、運輸局、海上保安部、漁業者、啓発団体等
議事内容 水上オートバイに関する情報共有、令和 6 年度取組み他

(d) 小型船舶操縦者遵守事項等連絡会議

主 催 近畿運輸局海技資格課
実施期日 6 月 21 日 (金)
実施場所 近畿運輸局
参加団体 第五管区海上保安本部 警察本部 (大阪、奈良、滋賀、和歌山)
その他啓発団体等
議事内容 小型船舶遵守事項パトロール、周知活動について
パトロール等活動予定について 他

b. 安全啓発活動への協力

(a) 第 2 回大岡川安全航行検証実験

主 催 大岡川川の駅運営委員会
実施期日 6 月 28 日 (金)
実施場所 神奈川県横浜市中区大岡川
参加団体 第三管区海上保安本部 横浜市都市整備局
横浜市港湾局 関東小型船安全協会 他
実施内容 狭河川における水上オートバイ等動力船のひき波による影響
狭河川における動力船の追い越し速度とひき波による影響他

(b) 須磨周辺海域官民合同パトロール

主 催 須磨ヨットハーバー共同事業体
実施期日 9 月 14 日 (土)
実施場所 兵庫県須磨周辺海域
参加団体 神戸海上保安部 神戸市 須磨ヨットハーバー共同事業体
関西小型船安全協会 日本海洋レジャー安全・振興協会他
指導内容 周辺海域のレジャーボート、水上オートバイ乗船者等に、
新しい条例の遵守、危険操縦の禁止、ライフジャケット着用等
の安全指導及び啓発。

(c) 関係機関合同「川と海の安全推進活動」

主 催 第四管区海上保安本部
実施期日 7 月 26 日 (金)・8 月 6 日 (火)
実施場所 愛知県名古屋市
参加団体 中部運輸局 第四管区・第八管区海上保安本部
岐阜県県土整備部河川課 岐阜県警察本部他

実施内容 チラシ等の配布を中心とした水難事故防止啓発
(レンタルステーション幟、ライフジャケット展示)

(d) 第2回東京港の運河利用のルール・マナー検討会

主 催 東京都港湾局
 実施期日 4月16日(火)・6月12日(水)
 実施場所 東京都港区新橋
 参加団体 東京都港湾局 東京都建設局 江東区都市整備部
 東京消防庁 東京湾岸警察署 警視庁 海上保安庁
 東京都漁業協同組合連合会 東京湾遊漁船業協同組合他
 実施内容 東京港の運河利用のルール・マナーのパンフレットの改定

c. 安全講習会及び安全指導

(a) TPSP(水上オートバイ)安全講習会への協力

実施場所 東京都江東区他
 実施期日 4月25日、5月12・30日、6月13日、7月11・28日
 8月18・29日、9月5日、1月19日、2月9日(11回)
 実施内容 東京港及び周辺水域の健全利用、安全、マナーに係る講習
 参加対象 水上オートバイ一般利用者
 受講者数 471名(昨年度478名・通算7,326名)

② マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

マリンスポーツイベントにおける安全管理体制に協力し、安全性向上に努めた。

期 日	内 容	場 所
4/21(日)	FUN TO RIDE 水上オートバイ3メーカー合同試乗会	神奈川県平塚市
7/28(日)	NOWS 三浦 OWS 大会	神奈川県三浦市
9/7(土)	湘南オープンウォータースイミング	神奈川県逗子市

(2) 国内外における水上安全に関する連携強化

① IBWSS(The International Boating and Water Safety Summit)

開催期日 4月8日(月)～4月11日(木)
 開催場所 アメリカ ニューメキシコ州アルバカーキ
 主 催 USCG(米国沿岸警備隊)
 NASBLA(全米安全運航法管理官協会)
 NSBC(米国安全運航評議会)
 NWSC(米国水上安全会議)
 開催内容 ボートと水辺の安全について
 日本の水上安全事情や当財団事業のディスカッションやPR
 活動を評価され silver schooner 賞を受賞

参加各国の水上安全関連機関との交流

参加人数 6 カ国／240 名（4 日間）

② JBWSS（Japan Boating & Water Safety Summit）

当財団を含む JBWSS 連携協議会では、水上安全、安全運航をテーマとして、様々な団体の事業活動や事例紹介、問題提議など発表する場として開催し、情報発信と共有、団体間の効果的な連携、協調により、更なる水難の防止、安全対策の向上を図ることを目的として実施した。

a. 第 1 回目

実施期日 6 月 7 日（金）

開催場所 神奈川県横浜市 日本丸メモリアルパーク

共 催 JBWSS 連携協議会

（一般社団法人水難学会 公益財団法人マリンスポーツ財団
一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会）

国土交通省海事局 海上保安庁

公益社団法人関東小型船安全協会 株式会社舵社

実施内容 水辺の安全についての講演・展示会

博物館やデモンストレーションの紹介

水上安全関連機関との交流会

参加人数 30 団体／89 名（1 日間）

b. 第 2 回目

第 10 回記念日米交流イベントとして東京国際ボートショーの開催に合わせ、水辺の安全についての各種講演会や、水上安全に関する器材の展示会を官民連携にて行った。

実施期日 3 月 22 日（土）

開催場所 神奈川県横浜市 パシフィコ横浜

共 催 JBWSS 連携協議会

（一般社団法人水難学会 公益財団法人マリンスポーツ財団
一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会）

国土交通省海事局 海上保安庁

公益社団法人関東小型船安全協会 株式会社舵社

実施内容 水上安全関連機関との連携強化および情報収集

参加人数 30 団体／278 名（1 日間）

うち米国からの参加 3 名 National Safety Boating Council 他

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

今年度スタートした神戸市立須磨ヨットハーバーでの共同事業体による管理業務では、施設管理や利用者対応に加えて、周辺海域における自主事業の計画にあたっての関係機関との関わりや課題の調査を行った。

また、横須賀市港湾緑地公園では、日々の園内清掃や設備点検等を行いながら、うみかぜ、海辺つり両公園それぞれの特色を活かした自主事業を展開し、人々が気軽に楽しく快適に水辺に親しむことのできる環境の整備を行った。

- 該当する SDGs -

3 [保健]・4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・15 [陸上資源]

(1) 横須賀市立うみかぜ公園等の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

所 在 地 神奈川県横須賀市

管理施設 うみかぜ公園（スポーツ広場、遊具広場、芝生広場、その他）
海辺つり公園（広場、釣り広場）

業務内容

- ・ SDGs を意識した施設の適正な維持管理と運営
- ・ 施設の有効活用
- ・ 利用者サービスの向上
- ・ 来園者に対する啓発活動
- ・ 周辺海域の安全管理
- ・ マリンスポーツ等の普及活動（イベント等の開催）

① 公園利用者数

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
うみかぜ公園	18,882	30,183	14,323	11,561	14,714	14,156	16,006
海辺つり公園	5,059	7,621	6,065	3,655	3,551	5,403	7,580

区分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	前年度	前年比
うみかぜ公園	13,237	8,269	8,049	9,451	13,131	171,962	155,422	111%
海辺つり公園	5,734	3,733	2,635	3,389	4,375	58,800	52,401	112%

(2) 神戸須磨ヨットハーバーの運営管理事業（指定管理事業）

管理期間 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

所 在 地 兵庫県神戸市

管理施設 神戸市立須磨ヨットハーバー

業務内容

- ・ マリンスポーツの普及推進
体験乗船会や海洋スクール（教育）、SDGs 体験等
- ・ 安全啓発活動、周辺海域の安全管理
- ・ 水上オートバイによる警戒・救助拠点の調査、整備
活動拠点「シーバード神戸」の設置

4. マリンスポーツ助成事業

本事業では、我が国の海事産業の将来の発展のため、第2回「マリンスポーツ財団助成金」の公募を行い、次世代を担う若者の進学、より良い水辺環境創出にかかる調査研究や海洋活動等を支援した。

- 該当する SDGs -

4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・15 [陸上資源]

(1) 第2回「マリンスポーツ財団助成金」の公募について

公募方法 当財団公式WEBサイト及びSNSによる告知のほか、助成金情報ポータルサイトへの情報掲載、全国の水産高等学校へのポスター配付等を行った。

公募期間 9月1日から10月31日まで

(2) 助成対象者の選考経緯

① 第1回助成事業選考委員会の開催

開催期日 12月13日（金）

開催場所 当財団会議室

審議事項 助成金の分配方法、採点方法等について

② ヒアリング面談（オンライン）の実施

実施期日 1月17日（金）、1月18日（土）、1月20日（月）

開催場所 当財団会議室（オンライン）

面談対象 第1次選考（書類選考）の結果に基づき、進学等支援コース6名、調査活動支援コース2名、海洋活動支援コース1名の計9名を選出

面談内容 助成金給付願書等の応募書類に関する質問及び自己PR

③ 第2回助成事業選考委員会の開催

開催期日 1月24日（金）

開催場所 当財団会議室

審議事項 助成対象者の選考について

(3) 選考結果について

応募件数全30件より9件を助成対象者に選出

（進学等支援23件、調査活動支援2件、海洋活動支援1件、団体活動・設立支援4件）

① 進学等支援コース（5名）

申請者	進学先
個人（高校生）	東京海洋大学 海洋生命科学部 ・ 水産大学校 海洋機械工学科 福山大学 生命工学部 ・ 長崎大学 水産学部 神奈川県立海洋科学高等学校 専攻科

② 調査活動支援コース（2名）

申請者	所属先	研究内容
個人 (一般)	北海道 小樽水産高等学校	高校生がマリンスポーツ活動と並行して、海藻の生育調査を行い、環境保全、地域貢献の研究を通じて、マリンスポーツの生涯スポーツ、生涯学習化を図る。
個人 (一般)	静岡県立 焼津水産高等学校	高校生が海中清掃を通じて活動海域の環境調査を行い、調査結果を基に小中学生向けの教材としてまとめ、啓発活動に繋げる。

③ 海洋活動支援コース（1名）

申請者	所属先	活動内容
個人 (一般)	(一社)スピリット オブ・セイラーズ	愛知県美浜町の河和港にあるハーバーの再生とそれに伴う地域のマリンスポーツ活動拠点の再整備

II 収益事業

1. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業1）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、安全意識の向上に重点をおいた免許取得講習会を次のとおり実施するとともに国家試験に協力した。

- 該当する SDGs -

4 [教育]・14 [海洋資源]

(1) Maris ジェットスクールの運営事業

① 試験コース

次のとおり講習会と国家試験各5回が実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			受講者	受験者
6/1.11/23(土)	特殊小型船舶操縦士講習	桐生ボートレース場	31	—
6/2.11/24(日)	特殊小型船舶操縦士国家試験	桐生ボートレース場	—	32
7/20.8/17.10/5(土)	特殊小型船舶操縦士講習	多摩川ボートレース場	45	—
7/21.8/18.10/6(日)	特殊小型船舶操縦士国家試験	多摩川ボートレース場	—	45
合 計			76	77

2. マリンスポーツ施設の運営事業（収益事業2）

- 該当する SDGs -

4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]

(1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営（指定管理業務）

横須賀市立深浦・浦賀ボートパークでは、安全対策に重点をおき、適正な運営管理を行った。また施設を活用した地元自治会イベントや体験クルーズ、利用者に対する安全講習会など計画に基づいて開催し、無事事故もなく終了することができた。

① 施設を活用した事業活動

期 日	場 所	内 容	参加人数
6/22(土)	深浦ボートパーク	クサフグ産卵観察会への協力（地元自治会）	100
7/7-9/23	深浦・浦賀ボートパーク	横須賀海の魅力再発見クルーズ（8回）	15
3/9(日)	横須賀市産業交流プラザ	施設利用者安全講習会	37
通年	深浦・浦賀ボートパーク	シービン（海洋ゴミ自動回収機）の設置 及び浮遊物の回収	—

<施設利用状況>

（2025年3月31日現在）

	深 浦	浦 賀	計	前年度	前年比
係留船舶数	109 隻	64 隻	173 隻	171 隻	101%
駐車場利用台数	17,147 台	4,120 台	21,267 台	19,306 台	110%

3. オフィスビル賃貸事業（収益事業3）

当財団所有のAQUAビル（地上6階、地下2階）において、当財団本部事務所として使用するほか、一般に対し事務所の賃貸を行った。

賃貸施設 事務所 13室（全室賃貸中）

倉 庫 3区画（区画賃貸中、残り区画を当財団にて使用）

業務内容 事務所及び倉庫の賃貸・空きスペースの有効活用

III その他継続事業

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

（1）マリンスポーツ競技の活動支援

① 競技団体に対する運営支援

支援内容	支 援 先
運営支援	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟（JWWF）
	全日本学生水上スキー連盟（JCWSF）
	日本パワーボート協会（JPBA）
運営協力	日本ソーラー・人力ボート協会（JSHA）

② マリンスポーツ競技会の安全管理体制整備・協力

期 日	実施大会名	場 所
6/30(日)・10/6(日)	パワーボート都連シリーズ第1戦・第2戦	茨城県神栖市
9/28・29(土・日)	ソーラー&人力ボート全日本選手権大会	静岡県浜松市

第2章 組織運営

I. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を4回、評議員会を3回開催した。

1. 理事会

回	期 日	場 所	議 題
第 38 回	6/10(月)	当財団会議室	(1) 報告事項 ・第23回評議員会の開催結果について ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について (2) 2023年度事業報告及び決算報告（案）の承認について (3) 評議員会の開催について
第 39 回	7/3(水)	当財団会議室	(1) 報告事項 ・2023年度事業報告及び決算報告の内閣府への提出について (2) 次期会長、理事長、常務理事の選定について
第 40 回	12/4(水)	書面決議	(1) 定款の一部変更（案）の承認について (2) 書面決議による第25回評議員会の開催について
第 41 回	3/5(水)	当財団会議室	(1) 報告事項 ・定款変更の完了について ・横須賀市立ポートパークの指定管理について ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について (2) 2024年度の予算変更（案）について (3) 2025年度事業計画及び予算（案）並びに付帯決議案の議決について (4) 規程の一部改正（案）について (5) マリンスポーツ助成事業の対象者の承認について (6) 評議員会の開催について (7) 理事に対する貸付金について

2. 評議員会

回	期 日	場 所	議 題
第 23 回	4/22(月)	当財団会議室	(1) 報告事項 ・神戸市立須磨ヨットハーバー指定管理業務の開始について ・能登半島地震被災者支援について ・2024年度事業計画及び予算計画について (2) 任期満了に伴う次期役員（理事、監事）の選任について (3) 任期満了に伴う次期評議員の選任について (4) 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正（案）について
第 24 回	6/26(水)	当財団会議室	(1) 報告事項 ・第7期役員（理事・監事）の就任について (2) 2023年度事業報告及び決算報告（案）の承認について (3) 常勤理事の報酬額の件について
第 25 回	12/31(火)	書面決議	(1) 定款の一部変更（案）の承認について

II. 役員等の動向

2024年4月22日、第23回評議員会において、第7期理事・監事及び第4期評議員が選任された。第7期理事・監事については、小田切明氏が新任理事として、里見和洋氏が新任監事として就任し、第4期評議員については、第3期評議員全員が再任となった。

III. 監査等

本年度は、次のとおり実施された。

期 日	実施者	場 所	内 容
6/6(木)	当財団監事	当財団会議室 (東京都中央区築地 4-3-11)	2023 年度事業報告及び決算

IV. 定款の変更

変更した条項	変更内容	変更の期日
第2章目的及び事業 第3条（目的）	事業目的の一部変更	2024 年 12 月 31 日
第2章目的及び事業 第4条（事業）	事業の追加	2024 年 12 月 31 日

V. 規程及び達の制定・改廃

種類	規程等の名称	改正等の期日	改廃等
規程	役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程	2024 年 4 月 22 日	一部改正
	嘱託職員及び臨時職員の就業に関する規程	2025 年 3 月 5 日	一部改正
達	職域職員に支給する旅費を定める達	2024 年 10 月 18 日	一部改正
	主任に関する達	2025 年 2 月 12 日	制定
	有期契約職員の就業に関する達	2025 年 3 月 28 日	一部改正
	受託管理施設における職務及び地域限定職員の就業に関する達	2025 年 3 月 28 日	一部改正
	受託管理施設の臨時職員の就業に関する達	2025 年 3 月 28 日	一部改正

VI. 関係団体との交流

本年度は、次のとおり関係団体との交流や、海事業界との情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

1. 官庁・海事関連団体等

主 催 団 体	出席回数	参 加 内 容
海上保安庁安全対策課	1	ウォーターセーフティガイド意見交換会等
日本マリン事業協会	3	PWC 部会
UMI 協議会	1	総会
マリーナビーチ協会	1	公共マリーナ管理運営研究会
日本船舶技術研究協会	2	舟艇分科会

VII. 環境に配慮した活動

環境に配慮した事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを図るとともに、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

VIII. 職員等の動向

本年度は、正職員 2 名、職域職員 2 名及び臨時職員 3 名を雇用し、正職員 1 名及び臨時職員 2 名が退職した。

なお、年度末における職員数は 8 名、職域職員 3 名、嘱託職員 4 名、臨時職員 12 名であった。

別表. 1

役員名簿（第7期）

2025年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
会 長	笹 川 善 弘	
常務理事	岡 村 一 臣	
理 事	松 木 勇	学識経験者
理 事	中 島 敬 夫	株式会社 三益産業 代表取締役
理 事	堀越 富士夫	衆議院議員笹川博義秘書
理 事	小 田 切 明	
監 事	石 川 貴 博	学識経験者
監 事	里 見 和 洋	公益財団法人全日本空手道連盟 顧問

任期：2024年6月26日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(2026年6月)

別表. 2

評議員名簿（第4期）

2025年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
評 議 員	梶 原 義 明	学識経験者
評 議 員	笹 川 和 弘	社会福祉法人親孝行の里 理事長 関東開発株式会社 代表取締役会長 公益財団法人献血供給事業団 会長
評 議 員	本 間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟会長
評 議 員	北 田 靖 則	公益財団法人献血供給事業団 理事長
評 議 員	糸 川 正 晃	学識経験者（元衆議院議員）
評 議 員	金 子 光 夫	学識経験者（元当財団理事長）

任期：2024年6月26日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(2028年6月)

2024 年度事業報告書は、以上のとおりです。

2025 年 3 月 31 日

会 長 笹 川 善 弘 印

2024 年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり
事業が完了したことを認めます。

2025 年 月 日

監 事 石 川 貴 博 印

監 事 里 見 和 洋 印